

《公開用感染制御相談事例集(Q&A)》

相談事例No. 20

区分 標準予防策

【質問】

入院中に尿よりESBL産生菌が検出された患者が陰性の結果が得られないまま退院されました。退院後、デイサービス中の感染対策は、いつまで、どのようにしたらよいでしょうか？

現在、デイサービスなどでは入浴順番を最後にし、陰部洗浄ボトルを個人用に使っています。また、尿道留置カテーテル留置中で尿廃棄時に手袋とマスクを使用しています。対策は陰性結果が2回続くまでは必要となりますか？

【回答】

感染症の症状がなく、保菌状態の在宅の患者であれば、接触予防策ではなく、標準予防策を継続することとなります。

ただし、当該患者は尿道留置カテーテルが留置されていますので、特に同じようにカテーテルを留置されている他の患者への伝播を防止する必要があります。

現在行っておられる対策は、伝播防止に有効な対策であるので、継続してください。

尿廃棄時には、跳ね返りによりユニフォームを汚染する場合がありますので、エプロンの装着も必要です。